

仙台ブラスバンド部より2023!

NO. 7

2023/ 7/21

コンクール地区大会…金賞を受賞し、県大会へ!

吹奏楽コンクール地区大会から6日、ブラスバンド部の子供たちは火曜から練習を再開し、県の舞台に向けた新たなスタートを切りました。地区大会に向けて短い準備期間ではありましたが、子供たちは集中して練習を積み重ね、トクネットホール仙台のステージで堂々と演奏することができました。これまでの励ましありがとうございました。

県の舞台でも子供たちが生き生きと演奏できるよう、審査員の先生方にご指導いただきましたアドバイスを生かし、更に練習を積み重ねていきます。夏休み前半はコンクールに向けた練習が続きますが、県大会に向けてのお子さんへの励ましと、ブラスバンド部活動へのご理解、ご協力を引き続きよろしくお願い申し上げます。

県大会のチケット申込書、県大会の参加計画は、来週行われる宮城県吹奏楽連盟の役員会以降にお知らせいたします。

吹奏楽コンクール仙台太白・仙台宮城野若林地区大会講評

石津谷 治法 先生 (習志野市立習志野高等学校吹奏楽部顧問, 全日本吹奏楽連盟理事長)

大編成によるゴージャスな演奏ブラボー。全てのメンバーが意欲的に楽器に息を吹き込んでいるので、音楽に躍動感があって素晴らしいね。木管もサウンドが素晴らしいな。うちの習志野高校の生徒より良いサウンドしているんじゃないの。

トゥッティのフォルテ以上の時に、音を押ししてしまうので、ここは要注意しましょう。一人一人が良いサウンドを持っているので、音量で勝負するのではなく、音色で勝負してほしいね。

岩本 伸一 先生 (サクソフォン奏者, 洗足学園音楽大学)

元気の良いステージでしたね。

さらにステップアップとして、音の形がつぶれたり、開いたりせず、お腹の力で楽器を鳴らせるとアンブシュアも楽になり、音程がフラットにならないと思います。クリアなサウンドなるよう、さらに頑張ってください。

岡崎 耕二 先生 (トランペット奏者, 東京都交響楽団)

音の抜けが欲しい、少々、全体的にこもりがち。リズムにもっと躍動感が出てくるように。強弱のメリハリが欲しい。音程に注意、特にフレーズ終わりの音。息のスピードを使って、伸びやかな音に。プレスが浅いので、音が薄い。

黒岩 真美 先生 (クラリネット奏者, シエナ・ウインド・オーケストラ)

演奏のクオリティーはもはや小学生ではなく、ただ小学生らしい生き生き、キラキラとした音でとてもワクワクしながら聴いていました。ブラボー! 楽しいからこんなに上手になるんでしょうね。

こんなに吹けるなら、どんどん場面に合った音色を奏でられるようにイメージ作って練習してみよう。今は強弱の表現のみに聴こえます。それでも、すごいと思います。

選曲もあって◎、先生も楽しそうで◎。ここからまた楽しんでいってください。

小助川 大河 先生 (ホルン奏者, 東京佼成ウインドオーケストラ)

元気があっていいですね。音楽表現においては、もう少し静かな演奏にも目を向けましょう。静かなところもあっ

てこそ、大きいところは映えてきます。

大きい中でも付けられる変化はあります。全開だけでなく、もう少し細かく見てみてください。

音楽の場面に応じて、音楽表現をもっと変えられると良いですね。音色の変化も、それができれば本当に歌うということを経験できると思います。今は歌っているようで、結果としてただ鳴らしているだけになってしまっています。

全開の時はとても良いサウンドですが、それを引き立てるためにも少し引いた瞬間や静かにできる場所を作ると良いと思います。

高田 亮 先生 (打楽器奏者, 洗足学園音楽大学)

セティングの練習をきちんとしてきてください。打楽器は譜面台や小物、スティックなど、どのようにすれば短時間でセティングできるか重要です。冒頭のスネアドラム 2 台はピッチの差があるともう少しあるとより効果的です。曲全体を通してさらにメリハリある演奏になるといいですね。

丸田 悠太 先生 (フルート・ピッコロ奏者, 東京佼成ウインドオーケストラ)

とても豊かな響きで、厚みのあるサウンドを持つバンドです。速いテンポの場面では、タテの線(テンポ感)の安定感にやや欠ける時があるので注意しましょう。ゆっくりな部分ではもっと一つ一つのフレーズを歌って表現したいですね。フルート、ピッコロ上手でした。

ホール練習(7/28(金)・広瀬文化センター) 実施計画

以下のような計画で宮城県吹奏楽コンクールに向けたホール練習を行います。保護者の方の見学や録音は自由ですが、ビデオ撮影は最後の通し練習のみでお願いいたします。また、当日は合奏講師を依頼予定ですので、中央付近の後方座席は空けていただきますようお願いいたします。

1 ねらい ホールでの音の出し方を知り、自信を持って自分たちの音を響かせるようにする。

2 期 日 令和5年7月28日(金)

3 会 場 広瀬文化センターホール

4 参加児童 プラスバンド部員 57 名

5 引 率 3 名

※ 親の会役員の皆様には、ステージ準備や片付けでご協力いただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

6 経 費 ホール使用料 24,200 円 (冷房代を除く)、楽器運搬費 32,400 円、貸切バス代 77,000 円

(見込み) ※ 親の会活動費より支出をお願いします。

7 日 程

7:30 学校体育館外入口前集合 7:35 楽器積み込み 7:55 学校発

8:10 マツモトキヨシ駐車場発 → 貸切バス移動 → 8:50 広瀬文化センター着

8:55 楽器搬入・準備 9:30~14:45 ホール練習 14:50 片付け・楽器積み込み

15:20 広瀬文化センター発 → 貸切バス移動 → 16:00 新田小学校前バス停着

16:10 学校到着・楽器降ろし 16:30 解散

5 児童の持ち物

【服装】夏用ユニフォーム【ベスト, キュロットスカート/ズボン, 白の半袖ワイシャツ, リボン, 黒色の膝下ハイソックス(ワンポイントなし, ニーハイでないもの), ローファー】

※ 髪型については自由ですが華美な髪飾りは避けて、黒を基調とした髪ゴムをご使用ください。

※ ローファーは移動で足が疲れる可能性がありますので、スニーカーなどを履いてきて、会場でローファーに履き替えても構いません。

【持ち物】楽譜, 筆記用具, ハンカチ, ティッシュ, 水筒, その他演奏に必要なもの, 酔い止め(必要な場合)

昼食(おにぎり, サンドウィッチなど食べやすいもの)